

新庁舎建設に関する調査特別委員会（第22回）

日 時：平成28年5月23日（月）

15:00～

場 所：本庁舎6階第1会議室

日 程

1 開 会

2 内 容

- ・市民ワークショップについて

- ・鳥取市新庁舎建設委員会について

3 その他

4 閉 会

第14回 鳥取市新庁舎建設委員会

日時：平成28年5月17日（火）

午後6時～午後7時半

場所：鳥取市役所本庁舎6階 第1会議室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 市民ワークショップの開催結果について . . . 資料1

(2) 環境にやさしい庁舎の検討状況について . . . 資料2

(3) 敷地利用計画、建物平面計画の検討状況について . . . 資料3

(4) 公用車駐車場確保の検討状況について . . . 資料4

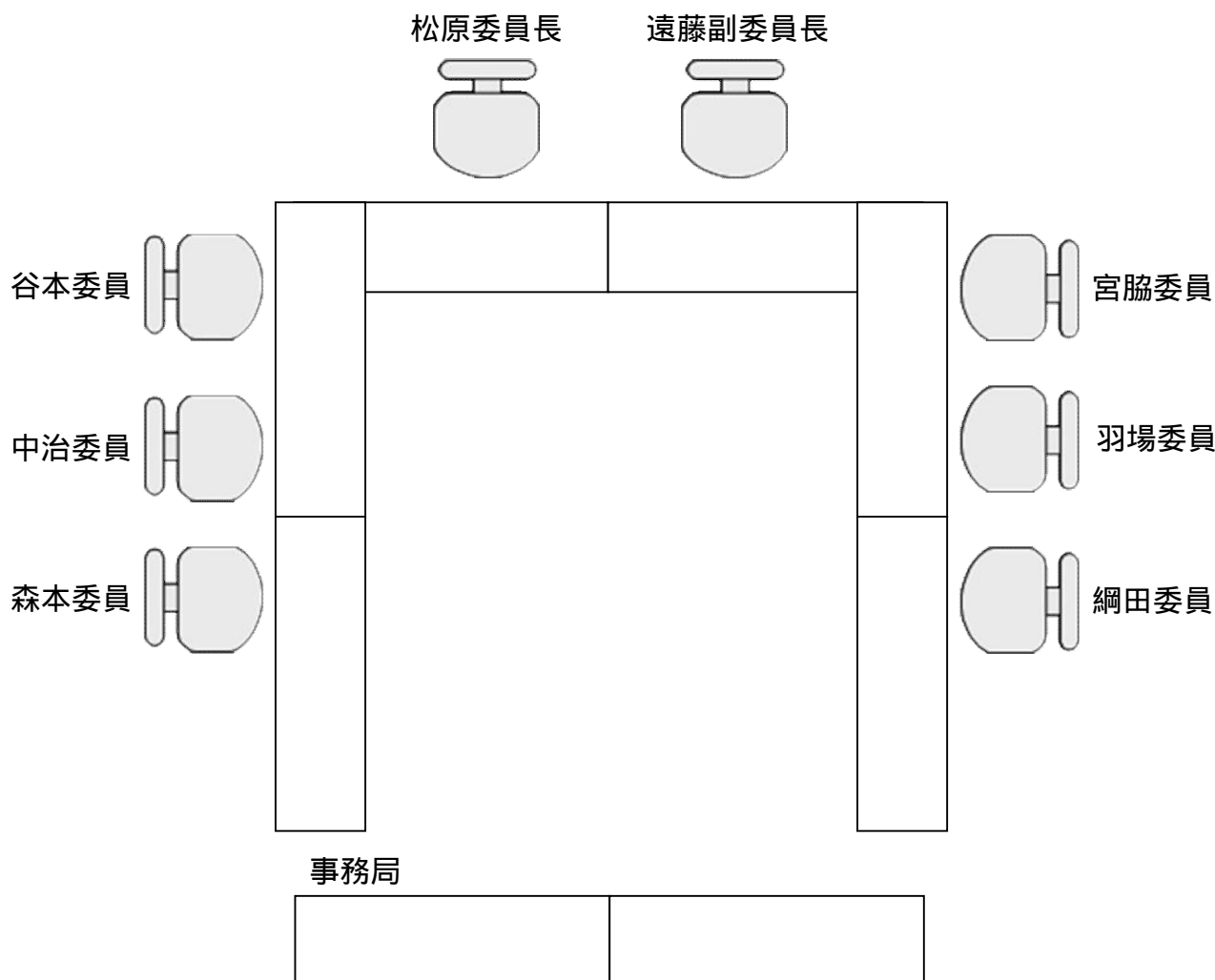
(5) その他

4 閉 会

鳥取市新庁舎建設委員会（第14回） 委員名簿

氏名	所属・役職	区分	備考
遠藤 由美子	公立鳥取環境大学 環境学部環境学科准教授	学識経験者 (建築環境)	副委員長
谷本 圭志	鳥取大学 大学院工学研究科教授	学識経験者 (社会基盤)	
中治 弘行	公立鳥取環境大学 環境学部環境学科教授	学識経験者 (建築構造)	
松原 雄平	鳥取大学 大学院工学研究科教授	学識経験者 (防災計画)	委員長
森本 博美	鳥取県建築士会会長	有識者 (建築士)	
宮脇 儀裕	鳥取県総務部 参事監兼営繕課長	行政関係者 (県)	
羽場 恭一	鳥取市 副市長	行政関係者 (市)	
綱田 正	鳥取市 都市整備部長	行政関係者 (市)	

配席図



市民が安心して相談でき、くつろいで利用できる きなんせ窓口

おまかせください

出島状の窓口を

- 高齢者、障がい者に対しては職員が出向くというスペースも
- 職員が窓口の方を向いて仕事ができるように、ひとが来たらずぐわかるように

プライバシー

窓口には開かれた仕切りを

- 相談コーナーの仕切りは隣が見えない程度の高さに
- 相談窓口は配慮が必要
- プライバシーを考慮した相談スペースの確保（生活保護、高齢者など）
- プライバシーの保護（隣りの人の顔がみえないように）

個室

安心して相談できる個室を

- 個室にもキッズが遊べるスペースを
- 個別相談スペースは外に声が聞こえないように
- 個室の空間はホッとする工夫を

みんなのロビー

待ち時間をくつろいで過ごせるロビー

キッズ

- キッズコーナーにはイス、テーブル、テレビなどがあり、少しカーペットのところもあると良い
- お母さんの顔が見えるように
- トオりにわに面して、子どもがちょっと遊べるスペースや絵本コーナーを
- キッズスペースは小さい子どもさんがあぶなくないよう、安心して相談できる空間に

シニア

- 高齢者がくつろいで長居できるミニライブラリーコーナーを（小上がりもあり？）

全ての世代

- みどりが多く、ホッとする環境
- 明るい空間、くつろげるスペース（子どもから高齢者まで）
- 時間待ちが気軽にできる、テーブルやイスが配置されたコーナーをつくる
- 地場産材の良さを再発見できる家具や内装のある市民ロビーを
- 世代によって求められるものが違うので、何パターンかの相談スペースを
- 行政情報が身近に感じられる、カフェのようにゆったりとした図書、検索コーナーを

コンシェルジュ

入口にある安心

- コンシェルジュのスタンバイ位置は入って目に付くところに
- コンシェルジュは2～3人配置して、自由に動けるように
- 自分の相談したいコーナーを分かりやすく
- どのコーナーによるのか分かりやすく
- 庁舎内に常に手話のできる職員を配置する

サイン

シンプルで分かりやすい目印を

- 窓口がわかりやすくしてある（色など）
- 上だけでなく、床に行先が示されている庁舎もある

駐車場

- 駐車場を使いやすく

やさしさとあたたかさあふれる新庁舎

ひとにやさしいカウンター

安心して利用できる

人の視線を感じず落ち着けるカウンター配置

- プライバシーが守られる雰囲気
- 視線が合いにくい動線

誰でも使えるカウンター

- 車椅子の方でも使える上下するカウンター
- ベビーカーがおける広々スペースのカウンター

安心して子供を連れて来られる窓口

- 親子連れも来やすいロビー
- 見通しの良いキッズコーナー

誰にでもわかる総合案内

様々な人に対応

入ってすぐ、わかりやすい総合案内

- わかりやすい場所に総合案内
- 銀行のサービスカウンターのような総合案内
- 入ってすぐ総合案内が案内してくれる

様々な人に対応できる人材

- どんな世代でも不安なく来庁できる受付
- 外国語のわかる人を呼び出してくれる
- 手話のできる人を呼び出してくれる

初めてきた人にも分かりやすい誘導・案内表示

- 自分の行き先が分かりやすい
 - テパートみだいなフロア案内図
 - 目的の係までスムーズに行けるサイン(色を変える)
 - 各課の色を変える
 - 中高生でも利用の仕方がわかる案内
- その他

- 職員から声をかけてくれる
- タブレットを利用して使いやすくしてほしい

感じる鳥取らしさ

地産の素材を使ってPR

様々なイベント・商品等のPRスペースを設けたい

- イベント情報等、観光客も立ち寄りやすい場所に
- 砂像
- 福祉作業所の製作物

木材の利用

- 木などあたたかい印象の家具、カウンター
- キッズコーナーに木のおもちゃを

地元の工芸品利用

- 鳥取の工芸品を使った什器（備品、小物など）
- 青谷、佐治の和紙

とっとりらしいサイン

- サインに鳥取の工芸品を使う
- 傘踊りの傘、焼き物等をアイコンに

こちよい待合

いろんな「気になる！」に配慮

視線や音が気にならない空間づくり

- 来庁者の視線が気にならない配置
- 託児室には防音設備を
- オルゴールのような優しい音楽を流す

居心地の良い空間

- 待合スペースのみ床が木
- 座り心地の良い椅子

その他

- 外構で床材の段差や剥がれが起きないようにする

鳥取から鳥取colorを目指して！

ローカル・グローバルなイベントがしたい

様々な市民利用に対応

様々なイベントが開催できる場所

- ・鳥取で頑張っている人が発表できるイベント
- ・スピーカースコーナー
- ・日本語カフェ、英語村イベント
(県内外、国内外の方々ともふれあえる場所)

たくさんのイベントで賑わっている場所

- ・相談の機会、週替りテーマ
(相談会や催し物がたくさん開催されている場所)
(様々な団体が集い、交流できる場所)
- ・犬猫の里親探し、しつけ教室イベント
(多様なイベント開催にフレキシブルに対応できるスペースを屋内外に用意)

市民から発信

市民交流を促す情報を発信

魅力的な情報を市民自らが発信し交流を促す

- ・アンテナ機能
(魅力的な街なかスポットの発信)
- ・観光案内、コンベンションセンター
- ・物産の売店
- ・スタジオを利用して情報発信
(併設スタジオを利用した情報発信)
- ・ハッカソン・アプリ開発を利用して情報発信
(情報発信につながるIT技術とふれあえるイベントやワークショップができる施設)

市民・県外者、みんなが自由に交流

自由に交流できる賑わい場

多世代、各種団体同士が自由に交流できる場所

- ・開催しているイベントの様子が画面に映し出される(子どもの笑顔など、いきいきしている様子)
- ・庁舎内に用事がなくても自由に来て交流できる子供からお年寄りまで楽しめるように
- ・市民交流のにぎわいが53号側にあったほうがいい(にぎわいの見える化)
- ・2Fデッキにも憩いの場
- ・土日も利用、展望も
- ・交流施設は8:30から20:00まで利用できる
- ・自由に使える部屋、大小

こんな設備があったらいいな

- ・レンタサイクルで街なか交流
(情報を受け取った次のアクションを促す)
- ・画面に子供の笑顔があって活き活きしている様子(イベントの様子がリアルタイムでわかるように)
- ・鳥取の温泉を月替りなどで足湯として使う、足湯交流

動画で発信

動画を利用して交流を促す

- ・情報発信、大画面モニターを使用、サークルなどの情報発信
(市民活動を動画で宣伝して市民交流を促す)
- ・動画を制作してアピール
- ・動画で鳥取市のマップがすぐわかるような物がほしい、食べ物、観光もの、みやげ

鳥取らしい運営・施設

鳥取らしい運営・施設

鳥取の特徴を活かした施設づくり

- ・常に市民のための展示ができるスペースがあれば人が自然に集まって来る
- ・敷地全体を公園化する、砂像なども設置、観光ルートになるくらいに
- ・市61地区の展示物作品、モニュメント等を内外に設置、市と地域の連帯を計るため
- ・コストの問題があるので順次に(要望の中からコストを念頭に精査する)

市庁舎らしく運営

市庁舎としての施設運営を

- ・公民館的な要望、要素のものもあるので整理の必要がある
- ・県外の方を受け入れる要素のシンボルが必要
- ・セキュリティ対策

喫茶をギャラリーのように

喫茶・飲食を鳥取らしさが詰まったギャラリーのように

- ・レストランキッチンを設置、鳥取らしさを盛り込む
(地場産材を活用した飲食空間)
- ・地産地消を
(地元の食材をアピールできるような仕掛け)
- ・喫茶食堂は駐車場から近い位置

ちょっとひといき / そうだ、新庁舎へ行こう！

くつろぐ

誰でも利用可能な心地よい空間

光や風、自然を感じる

- 植物を配置して、気持ちの落ち着けるスペース
- バルコニーなどの屋外スペース(カフェ)
- 屋外カフェスペース 芝生+杉デッキ
- 芝生+ウッドデッキ
(屋内には観葉植物の設置、屋外には鳥取方式の芝や鳥取県産木材のウッドデッキを採用)

食事やお茶や、さらに楽しむ

- 軽食、お茶が飲めるような空間を
- フリースペース フードコート
- 昼寝スポット/ハンモック

にぎわう

人を惹きつける魅力づくり

多様な活動の場所となる

- 素足であそべる鳥取方式の芝生の庭、駐車場も全面
(駐車場の芝は緑化芝生保護材と除雪の検討が必要)
- 多目的スペースに柔かい遊具
(スペースや、待ち時間の有効活用)

人がつどい対話生まれる

交流を促す活気あるイベント

- フリーマーケット、物の売り買いが自由に行える場
(イベント時に鳥取のプロダクトの発信基地や販売)
- 市民活動の拠点に、駐車場も含めイベントに活用
- 人と企業(商品)との出会い、企業、作家の展示スペース
(日常的に企業の交流スペースの設置)
- 大学のサークルの公演(ダンス、演奏会)

便利になる

誰もが快適に利用できる

身近に感じる交流スペース

- 24時間利用可能とする
- 夜間利用できる会議室
- 間仕切りをして少人数で会議ができるような空間を
(パーティションで大小に仕切る多目的スペース)
- Free Wi-Fi
- スペースに入るのに段差のないように

旅行者への配慮

- サイクスペース、自転車の組立て(列車持込み可能な自転車の組立てスペース)
- レンタサイクル、とりぎん会館わらべ館等をむすぶ、のりステ可能
(観光客や駅利用者の誘致と利便性向上、駅にもあるのでその関係の検討)

鳥取らしい

市民が親しみ愛される庁舎

地域の「心の風景」を支える

- 新庁舎にニックネーム
(市民に公募し「庭」や交流スペースに愛称を付ける)
- 砂像など鳥取を代表するオブジェ
- 内装や机、イスに県産の木を使ってほしい
- 鳥取らしさ(因幡)智頭、若桜の杉をデッキ等に活用

その他

こうすればもっとよくなる

- 多目的スペース キャバ 200名程度必要
(市庁舎以外の場所も検討)
- 食の安全「nonGMO(遺伝子組換)、添加物規制」
(周辺の飲食店舗との差別化)
- 窓を大きく
(明るい開放的な空間、内外の連続性)

わたしのにわ

緑豊かなやすらぎの庁舎

気軽にみんなが集まれる「にわ」

訪れやすい庁舎（にわ）

- ・屋上緑化したり、市内を見渡せるように展望スペースがあると良い
- ・緑豊かなトオリにわにしたい
「ナチュラルガーデン」
(緑化フェア)を活かした庭など

駐車場

みんなが使いやすい駐車場

- ・駐車場は立体がよいのでは
- ・積雪時対応として屋根を付けたほうが良いのでは
- ・公用車用駐車場（2～3F）を設置してはどうか

鳥取らしさ

鳥取市に相應しいデザインの「にわ」

市民参加でデザインを検討

- ・鳥取の特色、「らしさ」を取り入れたデザインとしてほしい、風格あるものに！
- ・特産品をモチーフにしたイスがあれば楽しい
- ・備品などを市民と共に作る、ベンチなどが作りたい

みんなが集まる

みんなが集まる「にわ」づくり

みんなが参加する「にわ」づくり

- ・レンガを購入して名前を刻むなど自分の名前があると愛着ある庁舎となる
- ・あたたかみのある素材でつくりたい
- ・小中高大学生などと連携したい
(樹木の苗を育ててもらい植樹するなど)

みんなに人気の飲食スペース

- ・地元特産品が食べたい！
(素ラーメンなど)
- ・食堂を学生などに使えるようにしてはどうか
(アイドルタイムには学生の自習空間に)

子どもたちが集まる「にわ」

- ・噴水（子供の遊び場）が欲しい
- ・噴水は芝生の水やりにも使えるようにしては
- ・子どもたちがあふれる庁舎にしたい
- ・宿題や自習ができるスペースがあれば子どもが自然にあふれるようになるのでは
- ・オクのにわに遊具を設置してほしい
- ・ナカのにわも芝生にしてオクのにわとつなげると広々した「にわ」になるのではないかと

おとなが集まる「にわ」

- ・市民の縁側のようにしたい
だれもが気軽に立ち寄れる「にわ」になると良い

災害時もみんなが集まる

「にわ」にすればなんとかなる

フレキシブルに活用できる「にわ」

- ・ナカのにわオクのにわは防災時にも活用できる様にしてほしい
- ・通常時の使いやすさと防災時には拠点となるようにしてほしい
- ・災害時対応自販機があると良い
- ・停電時のライフラインがとまった時でもインフラを使えるようにしてほしい
- ・イベントや災害で使え、駐車場に電源、水、排水を確保してほしい

わたしのにわ

市民参加型の「にわ」づくりや、鳥取らしいデザインを取り入れること、魅力的なイベントや飲食店があって、災害時にもここに来れば何とかなる
「4つのにわ」は市民一人一人が愛着を持って「わたしのにわ」と思えるような「にわ」としたい

ついでに新庁舎

みんなのオクのにわ

誰もが心地よいにわづくり

緑が多くこどもから大人まで楽しむにわ

- ・裸足で走りまわれるよう芝（鳥取方式）で緑化したい（芝はグランドゴルフも利用可能）
- ・緑が多く家族連れや子供たち、老人みんなが利用できるにわ
- ・小さな幼児からグランドゴルファーまで皆が集えるにわとして
- ・子どもが遊ぶ遊具やオブジェ、彫刻などの設置
- ・夏場でも快適に過ごせ、子どもの遊び場となる噴水、大人も涼しいミストシャワーの設置

庁舎とのつながり

オクのにわを取り込み有効に活用

- ・オクのにわをいかに新庁舎と一体化するかが難しいと思う
- ・全体の敷地を考えるとオクのにわは思った以上に広く感じる

困った時も

災害時に頼れる庁舎づくり

避難場所としての整備

- ・ソーラーパネル付電灯を設置（災害時に蓄電池でスマホが充電できる）
- ・緊急トイレ用のマンホールの設置
- ・テント設置用の埋込フックの設置

賑わいのにわ

気軽に立ち寄り集うにわづくり

市民が集い様々なイベントを楽しむ

- ・イベント広場で日曜市を開催したい
- ・ナカのにわで軽トラ市を開催したい
- ・傘踊りや、若者のパフォーマンスなどの練習ができるスペースが欲しい
- ・音楽の演奏ができるステージが欲しい
- ・イベントに必要な電源、給水の整備が必要 災害時にも利用可能

市民が集い様々なイベントを楽しむ

- ・鳥取のPRやイベント情報などを発信する大型モニターの設置
- ・庁舎の情報発信スペースとつながるオモテのにわ
- ・オモテ、トオリにわに人が集い気軽に立ち寄りやすい庁舎（にわ）

心地よいにわづくり

食事や休憩に立ち寄る

- ・飲食できるようテーブルセット、ベンチを各所に設置
- ・鳥取の木で作成したベンチの設置
- ・キッチンカーが並びランチを楽しむ
- ・手続きを待つ方が外で休憩できるにわ
- ・カフェや交流スペースとのつながり
- ・放課後子どもたちが集まる空間

駐車場

緑の駐車場

緑のあるあたたかみのある駐車場

- ・駐車場を芝などで緑化したい
- ・緑の中の駐車場のような雰囲気にしたいが、一方で駐車台数が少なくならないよう配慮が必要

理想の駐車場

鳥取の気候に適した駐車場

- ・駐車場の除雪対策（埋込式、パイプ式など）
- ・重機を使用しでの除雪対応
- ・雪の一時保管場所の検討
- ・駐車台数を多く確保して欲しい
- ・イベント時の駐車台数も配慮が必要

あったらいいな...

- ・くつろげる場として足湯が欲しい
- ・温泉がたくさん出る鳥取のアピールにつながる
- ・くる梨（循環バス）の停留所にして欲しい
- ・鳥取の気候に配慮し、年中使用できるように全天候型にして欲しい
- ・花回廊の出先として花時計を設けるなど、季節の楽しみを感じられるようにして欲しい
- ・ライトアップを楽しみたい
- ・チャレンジショップを設置して欲しい
- ・現在敷地利用者へ配慮しスケボー場の新設
- ・ランドマークとして市内が見渡せる展望台の設置

A

ハンバーグ

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ
① 窓口サービス

メンバー：池長綾子、佐々木ちあき、下山裕子、前嶋弘恵

リーダー・発表：山元貴裕 設計者：小牧実豊

市民が安心して相談でき、くつろいで利用できる きなんせ窓口

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
おまかせください (出島状の窓口を)	1 高齢者・障害者に対しては職員が 出向くというスペースも	市民を出迎えてくれるような カウンター	カウンターのレイアウトを 工夫するとともに、 コンシェルジュが丁寧に 対応します。	
	2 職員が窓口の方を向いて仕事が できるように、 ひとが来たらすぐわかるように			
プライバシー (開かれた 仕切りを)	1 相談コーナーの仕切りは、 隣が見えない程度の高さに	人の視線を感じず、 落ち着けるカウンター	窓口カウンターに 適当な高さの仕切りを設置します。	
	2 相談窓口は配慮が必要			
	3 プライバシーを考慮した相談スペースの 確保（生活保護、高齢者など）			
	4 プライバシーの保護 (隣りの人の顔がみえないように)			
個室 (安心して相談 できる個室を)	1 個室にもキッズが遊べるスペースを	音や視線を気にせず、 誰もが安心して相談できる個室 づくり (キッズも遊べるスペースも)	相談室には、 声が漏れないよう壁を設置します。 また安らぎある内装を計画します。	お子さんをお連れの来庁者への 具体的な配慮の内容を検討します。
	2 個別相談スペースは外に声が 聞こえないように			
	3 個室の空間はホッとする工夫を			
サイン (シンプルで 分かりやすい 目印を)	1 窓口がわかりやすくしてある（色等）	初めて来た人にも分かりやすい 誘導サイン	サインデザインにて配慮します。	
	2 上だけでなく、床に行先が 示されている庁舎もある			
コンシェルジュ (入口にある安心)	1 コンシェルジュのスタンバイ位置は 入って目に付くところに	目につきやすい分かりやすい 位置に複数人配置	コンシェルジュを、 入口からわかりやすい位置に 配置します。	配置する人数については 今後検討します。
	2 コンシェルジュは2～3人 配置して、自由に動けるように			
	3 自分の相談したいコーナーを分かりやすく	コンシェルジュによる 分かりやすい案内	コンシェルジュを配置し、 丁寧に対応します。	
	4 どこのコーナーによるのが分かりやすく			
	5 庁舎内に常に手話のできる 職員を配置する			

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項	
キッズ (待ち時間を くつろいで過 ごせるロビー)	1	キッズはイス、テーブル、テレビ等 があり、少しカーペットのところも あると良い	待合ロビーの母親の顔が見えて、 くつろげるキッズスペースを	外部に面した適切な位置に、 キッズスペースを設置します。	
	2	お母さんの顔が見えるように			
	3	トオりにわに面して、 子どもがちょっと遊べるスペースや 絵本コーナーを	緑が見える、 明るくて安全なキッズスペースを		
	4	キッズスペースは 小さい子供さんが危なくないよう、 安心して相談できる空間に			
シニア (待ち時間を くつろいで過 ごせるロビー)	1	高齢者がくつろいで長居できる ミニライブラリーコーナーを (小上がりもあり?)	高齢者が長時間くつろいで 過ごせるコーナーを	適切な位置に、 ハートフルコーナーを設置します。	
全ての世代 (待ち時間を くつろいで過 ごせるロビー)	1	みどりが多く、ホッとする環境	緑が見える、明るく、 心休まる待合ロビー	トオりにわに面して、 全ての世代が利用できる ハートフルコーナーを設置します。	
	2	明るい空間、くつろげるスペース (子どもから高齢者まで)			
	3	時間待ちが気軽に出来る、 テーブルやイスが配置された コーナーをつくる			
	4	地場産材の良さを再発見できる 家具や内装のある市民ロビーを	地場産の木材や和紙の利用		地場産材を利用した 魅力あるロビーを計画します。
	5	世代によって 求められるものが違うので、 何パターンかの相談スペースを	世代ごとに相談スペースを変える工 夫を		さまざまな世代が利用できる 相談スペースとします。
	6	行政情報が身近に感じられる、 カフェのようにゆったりとした 図書・検索コーナーを	くつろげる情報コーナーを		情報発信スペースは家具等を 工夫し、居心地のよい空間を 計画します。
駐車場	1	駐車場を使いやすく	使い勝手のよい来庁者用駐車場に	来庁される方にとって、 使いやすい駐車場を計画します。	

B

しろうさぎ

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ

① 窓口サービス

メンバー：荒川昌代、楠山洋子、瀧本昭良、谷本由美子

リーダー・発表：大谷喜博 設計者：田中敬

やさしさとあたたかさあふれる新庁舎

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
ひとにやさしいカウンター	1 プライバシーが守られる雰囲気 視線が合いにくい動線	人の視線を感じず 落ち着けるカウンター配置	窓口カウンターに適当な高さの 仕切りを設置します。	
	2 車椅子の方でも使えるカウンター 上下する！	誰でも使えるカウンター	どなたでも使用しやすい カウンターを計画します。	
	3 ベビーカーや車いすでも 広々スペースのカウンター			
	4 障がい者・高齢者・主婦などに 優しい受付システム			
	5 子供達も来やすいロビー 親子連れ	安心して子供を連れてこれる窓口	キッズコーナー等を計画します。	
	6 見通しの良いキッズコーナー			
誰にでもわかる総合案内	1 2つの出入口に案内 サービスカウンターのイメージ	入ってすぐわかりやすい 総合案内	入って分かりやすい位置に 総合案内やコンシェルジュを 配置します。	
	2 総合案内をわかりやすく			
	3 入ってすぐ総合案内が 案内してくれる			
	4 どんな世代でも不安なく 来庁出来る受付	様々な人に対応できる人材	手話対応可能な人材を配置します。	外国語にも対応できるよう 検討します。
	5 外国語のわかる人を 呼び出してくれる			
	6 手話のできる人を呼び出してくれる			
	7 自分の行き先が分かる	始めてきた人にもわかりやすい誘導	サインデザインにて配慮します	
	8 デパートみたいなフロア案内図			
	9 目的の係までスムーズに行ける			
	10 各課で色を変える			
	11 中高生でも利用の仕方がわかる案内			
	12 タブレットなどを利用して 総合案内をもう少し良くしてほしい	総合案内の利用しやすさへの配慮		施設備品について検討します。
	13 職員さんの方から声をかけてくれる			

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
感じる 鳥取らしさ	1 観光客も立ち寄りやすい ここに来ればとっとりがわかる	様々なイベント・商品等の PRスペースを設けたい	鳥取市の魅力をPRする 情報発信スペースを配置します。	
	2 イベント情報			
	3 砂像を			
	4 福祉作業所の製作物をアピール			
	5 木などあたたかい印象の家具	木材の利用	地域の木材や素材を使用した 家具や内装を計画します。	木のおもちゃなどの 備品について検討します。
	6 木のカウンター			
	7 キッズコーナーに木のおもちゃを			
	8 鳥取の工芸品を使った什器	地元の工芸品利用		
	9 青谷・佐治の和紙			
	10 サインに鳥取の工芸品を使う 流しびなど	サインのとっとりらしさ	鳥取らしいサインを計画します。	
	11 傘踊りの傘、焼き物等をアイコンに			
ここちよい 待合	1 来庁者の視線が気にならない配置		待合ロビーの配置を工夫します。	
	2 託児室には赤ちゃんの泣き声が気にならないような防音設備を	託児室など、 音が気にならない空間づくり		託児室のあり方を検討します。
	3 オルゴールのような優しい音楽を流す	居心地の良い待合ロビー	内装や家具などを工夫し、 居心地のよいロビーとします。	BGMなどリラックスできる 雰囲気づくりを検討します。
	4 待合スペースのみ床が木			
	5 座り心地の良い椅子			
その他	1 インターロッキングの使い方に注意 してほしい	後々、剥がれや木の根による隆起が 起きない外構としてほしい	使用する場合には配慮します。	

C

しいたけさん

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ

②

市民交流スペース

メンバー：清水はるみ、細田あき、山本源五郎

リーダー・発表：山下弥生、太田栄市

設計者：木下裕

鳥取から鳥取colorを目指して！

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項	
ローカル・グローバルなイベントがしたい	1 鳥取で頑張っている人が発表できるイベント	様々なイベントが開催できる場所	様々なイベントが開催できる場所としてフレキシブルに対応できる多目的なスペースを屋内外に配置します。	市民参加がしやすい多目的なスペースとなるよう、運営・誘致する場合の条件を検討します。	
	2 スピーカーズ・コーナー				
	3 日本語カフェ、英語村等のイベント				
	4 相談の機会、週替りテーマ	週替りで開催される相談会			
	5 犬猫の里親探し、しつけ教室イベント	動物イベントも開催できる場所			庁舎敷地内で開催することが相応しいかも含め、今後検討します。
市民から発信	1 アンテナ機能	鳥取の魅力ある地域や中心市街地を紹介できる施設	様々な情報が発信できるスペースを設けます。	鳥取の魅力的な情報発信や周辺市街地と連携した施設となるよう、運営・誘致する場合の条件を検討します。	
	2 観光案内、コンベンションセンター				
	3 物産の売店	物産の販売			常設ではありませんが、物産販売イベントや軽トラ市などを開催できる多目的なスペースを屋内外に計画します。
	4 スタジオを利用して情報発信	併設スタジオを利用した情報発信			市民に開かれたコミュニティスタジオや多目的に利用できるスペースを計画します。
	5 ハッカソン・アプリ開発を利用して情報発信	情報発信につながるIT技術とふれあえるイベントが開催できる施設			

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項	
動画で発信	1 情報発信、大画面モニターを使用、サークル活動などの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 多くの交流が生まれるように市民活動の宣伝が動画でできる設備 開催されているイベントのリアルタイム映像が流れている にぎわいの見える化 	情報発信スペースや多目的スペースの活動が外部からも見えるように計画します。	大型モニターの設置の是非や場所について今後検討します。	
	2 動画を制作してアピール				
	3 動画で鳥取市のマップがすぐわかるような物がほしい、食べ物、観光もの、みやげ				
市民・県外者、みんなが自由に交流	1 開催しているイベントの様子が画面に映し出される（子供の笑顔など、生き生きしている様子）			情報発信の方法やモニター設置の是非について検討します。	
	2 市民交流のにぎわいが53号側にあったほうがいい	<ul style="list-style-type: none"> にぎわいの見える化 市民交流するきっかけづくり 	多目的な屋外スペースである「にわ」が53号線側に開かれ、気軽に集える場所として計画します。		
	3 2Fデッキにも憩いの場				
	4 庁舎内に用事がなくても自由に来て交流できる。子供からお年寄りまでちょっと楽しめるように	ふらっと立ち寄れる場所			
	5 土日でも利用、展望も	土日に利用できる施設 展望できる場所もそうしてほしい	施設面は利用可能となるよう計画します。	利用できる日時などの管理運用方法は今後検討します。	
	6 8:30-20:00	朝は8時30分から利用できる場所			
	7 自由に使える部屋、大小	様々なイベントに対応できる施設	大小に間仕切り可能な計画とします。		
	8 鳥取の温泉を月替りなどで足湯として使う、足湯交流	各地の温泉が楽しめて足湯にかりながら交流したい	衛生面や維持管理を考慮すると常設は困難と考えます。		
	9 どの世代でも集える場所、気楽に立ち寄れる、子育て世代、学生、団体	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流できる場所 各種団体同士が交流できる場所 	様々な団体同士が交流できる市民交流ゾーンとして情報発信スペースや多目的スペースを設けます。	市民交流が促進される施設となるよう、運営・誘致する場合の条件を検討します。	
	10 レンタサイクルで街なか交流			中心市街地との連携が重要であり、庁舎だけで完結できないため今度検討します。	

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
鳥取らしい 運営・施設	1 常に市民のための展示ができるスペースがあれば人が自然に集まって来る、子供から大人まで	市民ギャラリーのような市民活動が表現できる場所	常設ではなく定例ギャラリーなどを開催できるスペースを設けます。	
	2 市61地区の展示物作品、モニュメント等を内外に設置、市と地域の連帯を計るため		土地利用上の制約があるためモニュメント等の設置は困難ですが、何らかの鳥取らしさを工夫します。	
	3 敷地全体を公園化する、砂像なども設置、観光ルートになるくらいに、コストの問題があるので順次に	砂像を設置して観光ルート化する 敷地全体が公園のような居場所となるように計画	配慮して設計に反映します。	砂の美術館イベント時の仮設展示ができるスペースを検討します。
市庁舎らしく 運営	1 セキュリティ対策	セキュリティをしっかりしてほしい	設計に反映します。	
	2 県外の方を受け入れる要素のシンボルが必要。	県外の方へアピールできる施設を目指すべき	地場産材を使った空間で鳥取をアピールします。 市民による様々なイベントが鳥取のアピールに繋がるよう、イベント開催にフレキシブルに対応できる施設とします。	
喫茶飲食を鳥取 らしいギャラ リーのよう	1 レストランキッチンの設置、鳥取らしさを盛り込む	地場産材を活用した飲食空間	設計に反映します。	
	2 喫茶食堂は駐車場から近い位置			
	3 地産地消を提唱していく意味でここにしかないようなグルメを満喫できるようなシステムを			運営・誘致する場合の条件設定を検討します。

D

うさぎさん

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ

②

市民交流スペース

メンバー：井土洋志、田淵裕章、野村卓司、山根滋子

リーダー・発表：山本祥平 設計者：中山公幸

ちょっとひといき / そうだ、新庁舎へ行こう！

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
くつろぐ	1 植物を配置して、気持ちのおちつけるスペース		植栽を行います。	
	2 バルコニーなどの屋外スペース(カフェ)	誰でも利用可能な心地よい屋外空間でくつろいたり、お茶や食事を楽しみたい	心地よい屋外空間となるよう工夫します。	芝やウッドデッキの設置を検討します。
	3 屋外カフェスペース 芝生+杉デッキ			
	4 芝生+ウッドデッキ			
	5 軽食、お茶が飲めるような空間を			
	6 昼寝スポット/ハンモック			
	7 フリースペース フードコート	セルフサービス、ローコストに気軽に食事のできる場所の提供	面積的にフードコートは難しいと考えます。	
にぎわう	1 素足であそべる鳥取方式の芝生の庭 駐車場も全面	トオリ庭・駐車場に芝張り、環境の向上	駐車場の芝生化は積雪対応を考慮すれば採用は難しいと考えます。	オクの庭は芝生を検討します。
	2 フリーマーケット、物の売り買いが自由に行える場	イベント時に鳥取のプロダクトの発信基地や販売	ナカの庭でイベント開催時に利用できるスペースを設けます。	
	3 市民活動の拠点に 駐車場も含めイベントに活用	駐車場などでイベントを開催		
	4 大学のサークルの公演(ダンス、演奏会)			
	5 人と企業(商品)との出会い、企業、作家の展示スペース	日常的に企業の交流スペースの設置	情報スペースを設けます。	
	6 多目的スペースに柔かい遊具	スペースや待ち時間の有効利用	キッズコーナーに設置します。	

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項	
便利になる	1	スペースに入るのに段差のないように	バリアフリー対応	ユニバーサルデザインとし、段差解消します。	
	2	Free Wi-Fi			今後検討します。
	3	24時間利用可能とする	いつでも利用可能なスペースの提供	施設面は利用可能となるよう計画します。	利用できる日時などの管理運用方法は今後の検討とします。
	4	夜間利用できる会議室			
	5	間仕切りをして少人数で会議が出来るような空間を	パーティションで大小に仕切れる多目的スペースが使いやすい	大小に間仕切り可能にします。	
	6	サイクルスペース 自転車の組み立て	観光客や駅利用者の誘致と利便性向上		中心市街地との連携が重要であり、庁舎だけで完結できないため今度検討します。
	7	レンタサイクル とりぎん会館わらべ館等をむすぶ、のりステ可能			
鳥取らしい	1	新庁舎にニックネーム	市民に親しみ愛される市庁舎とするため庁舎だけでなく交流スペースやトオリ庭などに愛称をつける 例) デイガード、パードスタジアム		今後検討します。
	2	砂像など鳥取を代表するオブジェ			設置の是非やスペースを検討します。
	3	内装や机、イスに県産の木を使ってほしい	仕上げや備品へ地元の木材の使用	可能な限り鳥取県産の木材を使用します。	
	4	鳥取らしさ(因幡)智頭・若桜の杉をデッキ等活用			
その他	5	多目的スペース キャパ 200名程度必要		スタンディング200名(着席で100名)程度の収容を予定しています。	
	6	食の安全「nonGMO(遺伝子組換)、添加物規制」	周辺の飲食店舗との差別化。まちづくりの基本。遠方からわざわざ足を運ぶ。危険な食べ物から子供を守る。		レストラン誘致の際の検討事項とします。
	7	窓を大きく	明るい開放的な空間、内外の連続性	トオリ庭に面する開口部は大きな窓とします。	

E

5つめのにわ

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ

③

4つのにわ

メンバー：小谷泰司、濱本昭吾、村山洋一

リーダー：植田雅子 発表者：藤原学 設計者：菅原大介

わたしのにわ

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
緑豊かな やすらぎの 庁舎	1 展望（屋上）緑化、市内を見渡せる	みんなが訪れ易くリラックス できる市庁舎であって欲しい。 気軽にみんなが集まれるにわに したい 屋上緑化をして活用したらどうか 屋上に展望スペースが欲しい	ベンチや休憩できるスペースを にわの各所に設置して みんなが気軽に集えるような にわとして計画します。 できるだけ多くの緑化を進めます。 展望できるスペースを設置します。	
	2 緑豊かな通りにわにしたい			
	3 「ナチュラルガーデン」 （緑化フェア）を活かした庭			
鳥取らしさ	1 鳥取の特色。らしさを！ 風格あるものに！	鳥取市に相応しいデザインや素材 で造ってほしい！ 特産品の形をベンチなどの 造形物に生かしてみてもは？！ 市民参加型でにわづくりをしよう！	鳥取らしいデザインの市庁舎 になる様に設計を進めます。	市民の参加については今後検討 します。
	2 特産品をモチーフにしたイス			
	3 市民を巻きこんだ備品、ベンチなど			
みんなが 集まる	1 ブロック（壁）の購入 （名前入り）（デッキ）	どうしたらみんなが集まるか？ どうしたらみんなが参加できるか？ を考えていきたい 新市庁舎に自分の名前があれば 市庁舎へ行く動機や愛着になる		市民の参加については今後検討 します。
	2 あたかみのある素材でつくりたい			
	3 小中高大などと連携 小学生 植樹 etc	子どもたちの力も新市庁舎建設に 取り込みたい！		
	4 谷口ジローさんリスペクト 素ラーメン（孤高のグルメ）	食堂では鳥取の名産品が味わえると 楽しい！		運営・誘致する場合の条件設定を 検討します。

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
みんなが集まる	1 食堂を学生などに使えるように	食堂が空いている時には学生が自習などできると嬉しい！		運営・誘致する場合の条件設定を検討します。
	2 オクのにわに遊具を設置	オクのにわで子どもたちが遊べるように遊具が欲しい	みんなの憩いの場となるようにくつろげる屋外スペースとして計画します。	遊具などの具体的な内容については、今後検討していきます。
	3 噴水（子供の遊び場）	オクのにわで子どもと遊べると良い		
	4 噴水兼芝生の水やり	噴水があると楽しい、夏場に涼める		
	5 ナカのにわも芝生にしてオクのにわとつなげる	庭が連続すると広がりが出る		
	6 子どもたちがあふれる庁舎にしたい	誰もが気軽に寄れる庁舎が良いな		
	7 市民の縁側のようにしたい			
	8 宿題や自習ができるスペース			
災害時もみんなが集まる	1 ナカのにわオクのにわは災害時にも活用出来る様に 2 通常時の使いやすさと防災拠点 3 災害時対応自販機 4 5 とまった時でも使えるイベント 災害で使える駐車場に電源、水、排水	災害時でもここに来れば良い！ そう思える庁舎であって欲しい。 その為に4つのには災害時にも活用できる工夫が欲しい。 段差があるとイベント時に利用しやすい イベントだけではなく災害時にも使えるインフラ整備を！		
駐車場	1 駐車場は立体がよいのでは 2 積雪時対応として公用車用駐車場（2～3F）を設置する。	雪が降る地域なので屋根付き駐車場があると良い イベントスペースの段差にも使えるのでは？	利用者用、公用車用含めて敷地内で活用しやすい配置とします。	

F

さくらんぼ

新本庁舎へわたしたちの提案

テーマ ③ 4つのにわ

メンバー：田中隆政、南部敏、圓井佳子

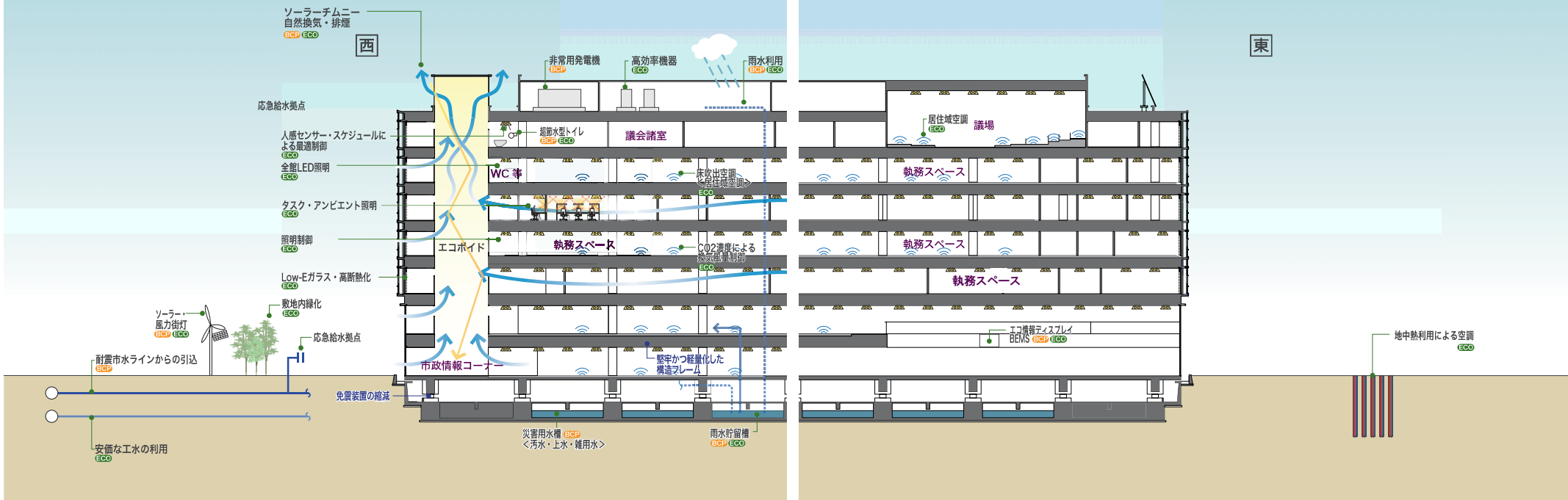
リーダー：上田直弥 発表者：森田良章 設計者：藤原静恵

ついでに新庁舎

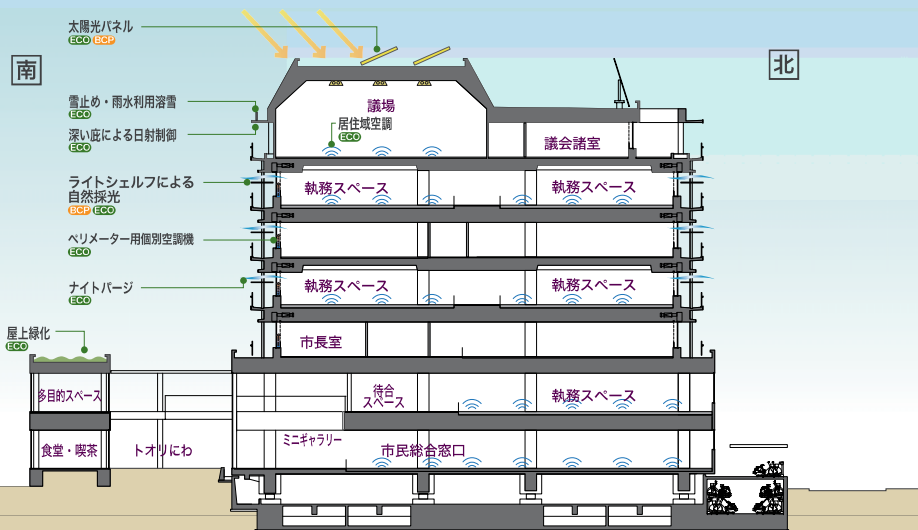
くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
賑わいの にわ	1 イベント広場、各イベントを行う日曜市の場所 その場で飲食するテーブルセット木のベンチ（鳥取の木）	市民が集い、様々なイベントを開催できる場所にしたい テーブル、ベンチを設け気軽に食事や休憩できる場所としたい 子どもたちが集まる庁舎にしたい	様々なイベントに対応できるようインフラの整備を行います。 ベンチや休憩できるスペースをにわの各所に配置するよう計画します。	
	2 ナカのにわで軽トラ市、トオりにわにキッチンカーが並び、ランチを食べられるようなイベントがしたい。			
	3 トオりにわはカフェや交流スペースと連携して利用出来るようオープンにし、ベンチやイスを設置 放課後子供たちが集まったり手続きを待つ方が外で休憩できる場とする			
	4 どこかの庭でカサオドリ等の練習ができるスペースが欲しい 若者のパフォーマンスなどができて もいいのかな	市民が、気軽に自分の趣味やイベントの練習に利用出来る場所としたい	市民が気軽に利用できるスペースを設けます。 音楽演奏は、屋内に開催可能なスペースを計画しますが、屋外は近隣への騒音の問題があるため、対応困難と考えます。	
	5 音楽演奏ができるステージが欲しい			
	6 オモテ、トオりにわに人が集い、情報発信スペースとオープンにつながり、フラッと市民や観光客が気軽に立ち寄りやすい市庁舎の顔となるにわ	市民をはじめ観光客が気軽に立ち寄りたいと思う賑わいのある庁舎の顔となる場にしたい	オモテのにわが53号線側に開かれ、トオりにわへとつながり、気軽に集える場所として計画します。	
	7 鳥取のイベント情報等ビジュアルに大型テレビを設置 (特色のPR)	鳥取の特色やイベントをPRする場所にしたい		情報発信の方法やモニター設置の是非を検討します。
	8 電源、給水などの整備 →災害時にも利用可能	イベントを開催しやすいよう整備が必要	イベント、災害時の為のインフラの整備を計画します。	

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
みんなのおくのわ	1 オクのわをいかに新庁舎と一体化するかが難しい	オクのわも取り込み有効に活用したい 緑が多く市民が集え遊べ、グラウンドゴルファーをはじめ遊具などを設け子供から老人まで皆が集え楽しめるにわにしたい	みんなの憩いの場となるようにくつろげる屋外スペースとして計画します。	遊具などの具体的な内容については、今後検討します。
	2 全体配置図を見るとオクのわのスペースは思った以上に広い			
	3 小さな幼児からグラウンドゴルファー どのようにしたら皆が集える公園となりうるか			
	4 庭、彫刻の設置 子供が遊べるオブジェ等			
	5 オクのわ 芝生緑化してハダシでも走れる様にグラウンドゴルフにも有効			
	6 緑が多いオクのわ 家族連れや子供たち、老人、みんなが利用出来るにわ 遊具等			
	7 噴水、ミストシャワー 子供の水遊び 夏場。大人も涼しく過ごす。見た目も涼しい			
緑の駐車場	1 駐車場の緑化	緑のある駐車場 駐車台数を確保したい	中高木により駐車場の緑化を計画します。 駐車台数は、利便性を考慮し最大限確保します。	
	2 ナカのにわ。緑の中の駐車場のよ うな雰囲気となればいいのだが、 そうすると、駐車台数が少なくなる 何を優先させるか			
理想の 駐車場	1 駐車場の除雪対策 埋設式、パイプ式 重機を使用しての除雪 捨てる場所？	鳥取の気候に合った駐車場にしたい イベント時においても駐車台数を確保したい	イベント主催者に、イベント時の駐車台数の不足分を確保するよう依頼します。	積雪対策は、様々な方式のコストや管理方法など比較し検討します。
	2 イベント時の駐車スペースの台数の 少なさ イベント時にはもっと置けなくなりそう			

くくりの言葉	ポストイット	設計者の理解	回答	今後の検討事項
困った時も	1 災害時の対応 ソーラーパネル付電灯 災害時に蓄電池ボックスが付いた 電灯があればスマホを充電できる	災害時に避難場所として機能する よう整備が必要	避難場所など防災拠点としての役割 も担うようインフラの整備を計画し ます。	
	2 災害時の利用方法 緊急トイレ用マンホール、 テント設置用埋込フック			
あったら いいな	1 足湯。鳥取のアピール くつろげる場として、.. くる梨で囲れる場所	足湯等、くつろげる場を設けたい	衛生面や維持管理を考慮すると常設 は困難と考えます。	
	2 全天候型にする（年中使用）	雨天時に備え屋根を設けたい	トオりにわに部分的に屋根を設け雨 天時も利用できるよう計画します。	
	3 花時計。季節の楽しみ。 花回廊出張（出先） 夜ライトアップを楽しむ	季節を感じられるようにわに したい		設置の有無を含め今後検討します。
	4 チャレンジショップ →空き家利用	若者にチャンスを与えられる庁舎 にしたい	庁舎内に設けることはスペース的に 困難と考えます。	
	5 スケボーの設置 現在の利用者の遊び場をつくった ほうが良いと思う フェンスはあった方がよい	現存敷地利用者への配慮が必要	鳥取市教育委員会が利用者協議会と 協議しながら今後の方針を検討する こととしています。	
	6 ランドマークとして展望台の設置 市内が見渡せる	鳥取の新しい顔となる展望台 ランドマークとしたい	展望できるスペースを設置します。	



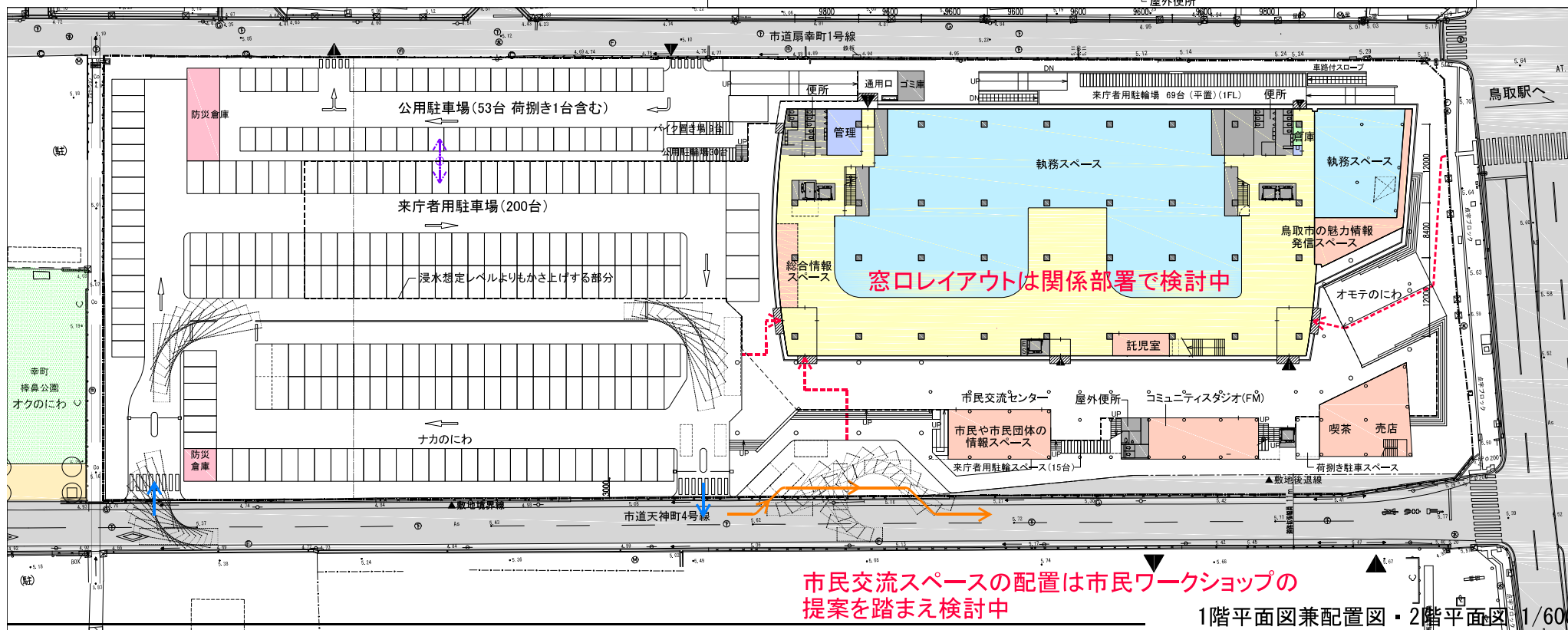
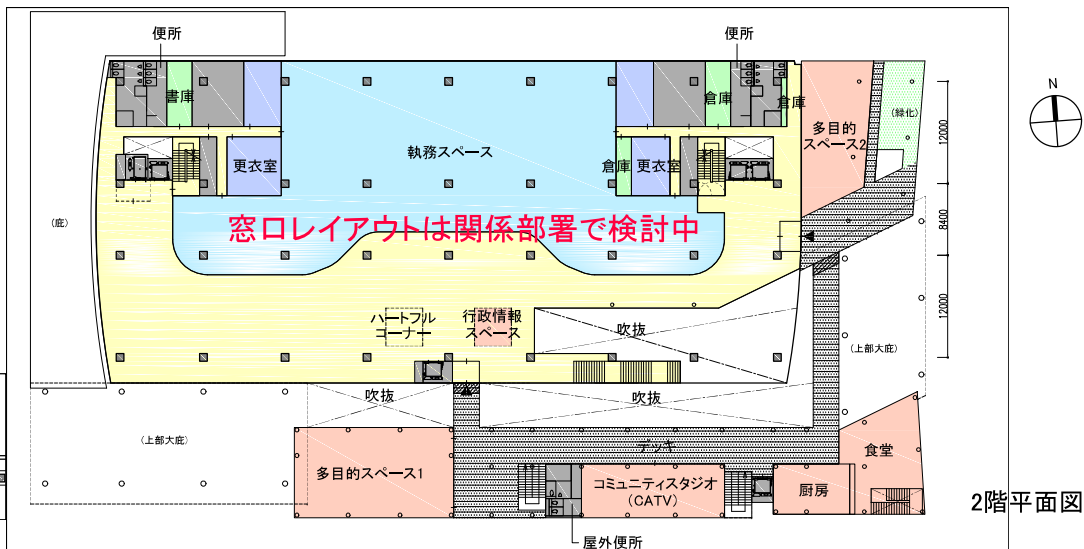
種別	中項目	項目	
自然エネルギーの利用 (再生可能エネルギー)	地中熱利用	地中熱利用による空調	
	雨水利用	雨水利用 (トイレ洗浄・雑用水)	
	太陽光利用	太陽光発電パネル	
	風		ソーラー・風力街灯
			エコボイド・ソーラーチムニー (自然換気) ※1
緑	屋上緑化		
省エネルギー	省エネ啓蒙	BEMS・大型ディスプレイ	
	照明エネルギー	タスクアンビエント照明 ※2	
		ライトシェルフ ※3	
		LED照明	
	省エネ機器	照明制御・人感センサー	
省エネルギー	負荷低減	スケジュールによる最適制御	
		高効率機器の採用	
		CO2濃度による換気風量制御	
		Low-Eガラス・高断熱遮熱化	
		居住域空調 (床吹出)	
木利用	環境啓蒙	内装材に地元産材を利用	



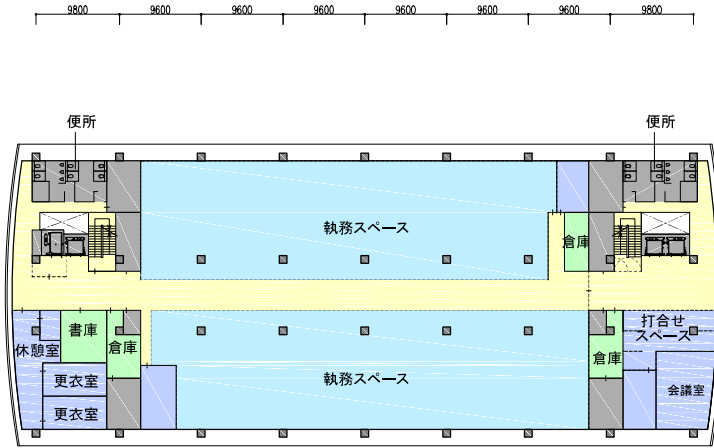
- ※1 エコボイド・ソーラーチムニー (自然換気)
太陽熱によって暖められた空気の上昇による気流を自然換気の動力源として利用。重力差換気 (OA機器などによって暖められた空気は外気より比重が軽く上昇することを利用した換気) と組合せ効率的な自然換気を実現。
- ※2 タスクアンビエント照明
机に設置する手元照明 (タスク照明) を設置することで、全般照明 (アンビエント照明) の照度を低く設定し、電力量の削減を行う照明手法を自然換気の動力源として利用。
- ※3 ライトシェルフ
直射日光を遮る庇としての役割と反射した自然光を部屋の奥まで導入する反射板。
- ※4 ペリメーター用個別空調機
冬の窓面の冷気等の熱負荷の進入を専用床置空調機 (窓面の立上がり壁内) にて処理。執務エリア (窓側) の熱環境の向上と残業などの個別対応としても利用。
- ※5 ナイトバージ
冷房期間、鳥取の昼夜の温度差を利用して、夜間蓄熱 (冷) を行う。昼間のOA機器発熱や暖められた躯体、什器を夜間の外気を導入 (低動力ファン) による給気、ボイドの上昇気流による自然排気) して冷却。翌朝の冷房立ち上がり消費エネルギーを抑制。

イメージ図 (費用対効果を踏まえ採用する項目を検討)

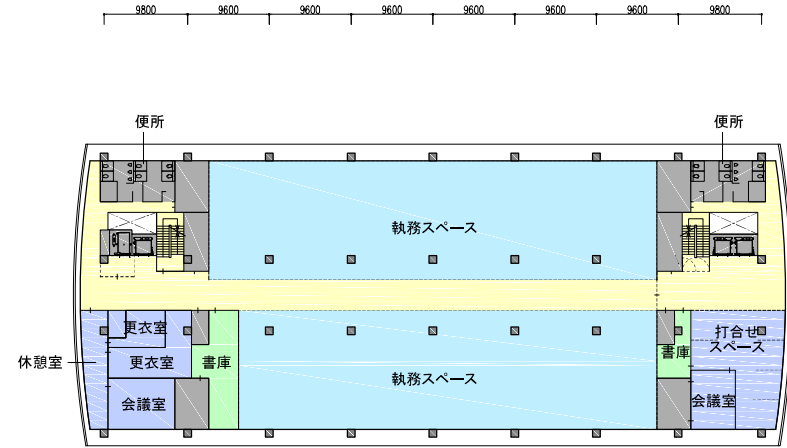
動線凡例		スペース凡例	
	循環バス		市民利用スペース
	来庁車		廊下
	歩行者		執務スペース
	公用車		便所・機械室等



1階平面図兼配置図・2階平面図 1/600

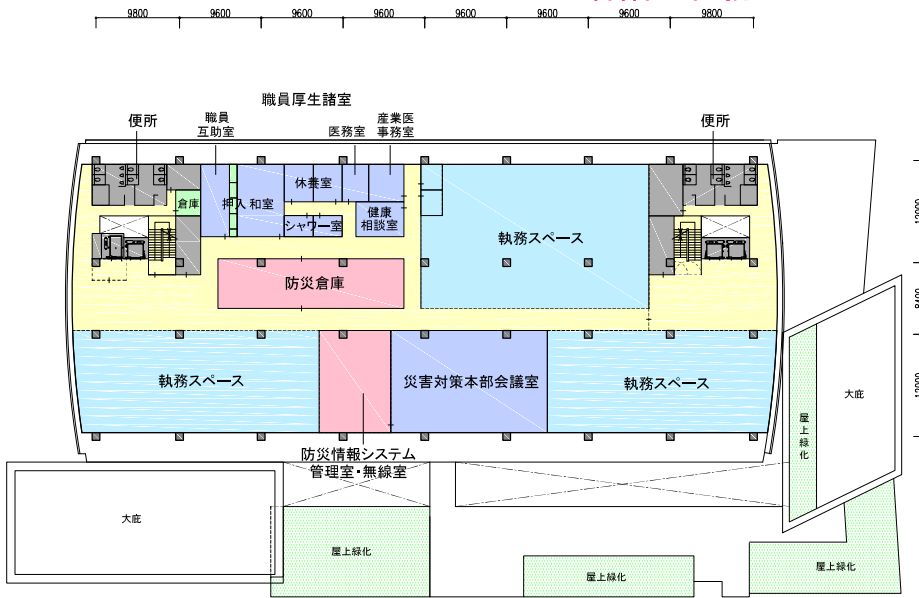


4階平面図

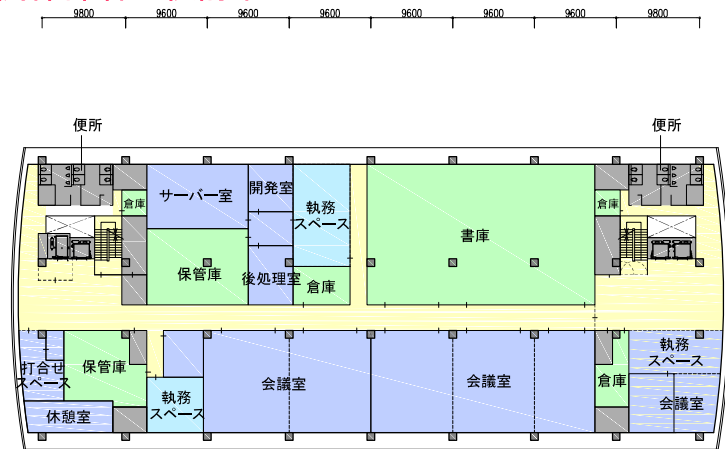


6階平面図

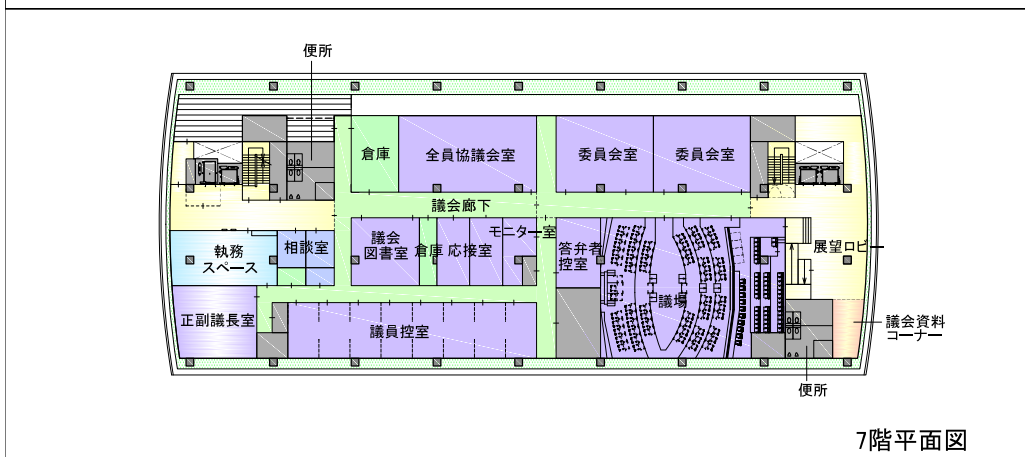
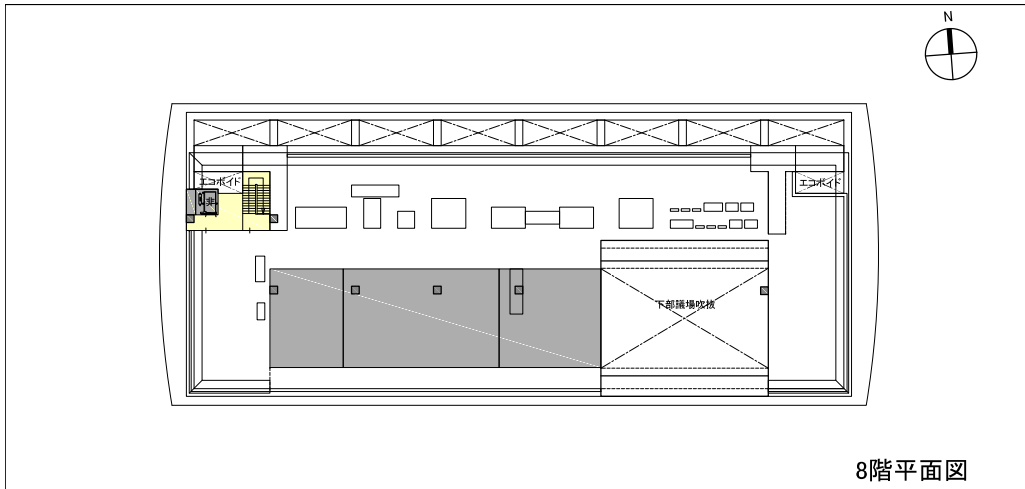
各階の執務スペースのレイアウトは関係部署で検討中



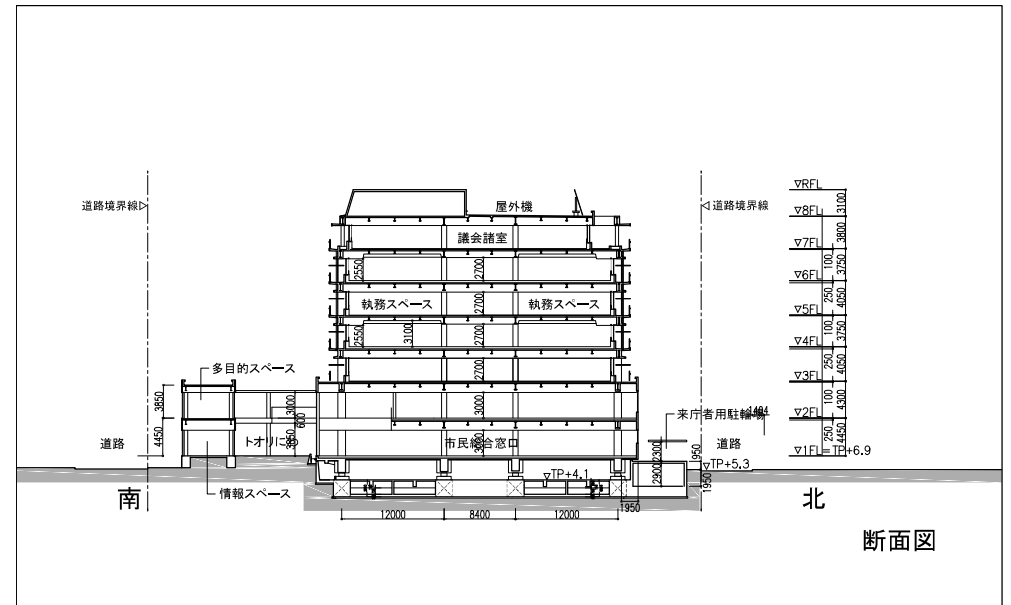
3階平面図



5階平面図



各階の執務スペースのレイアウトは関係部署で検討中



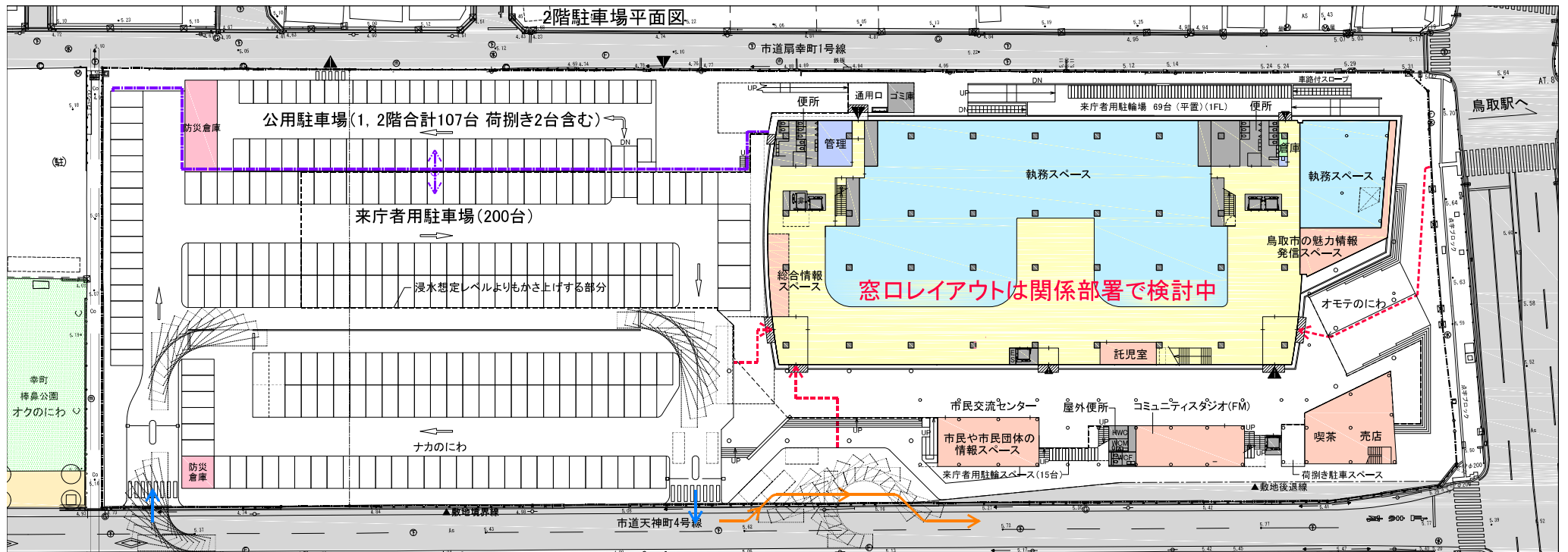
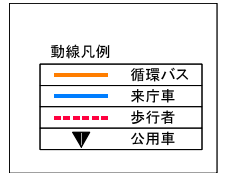
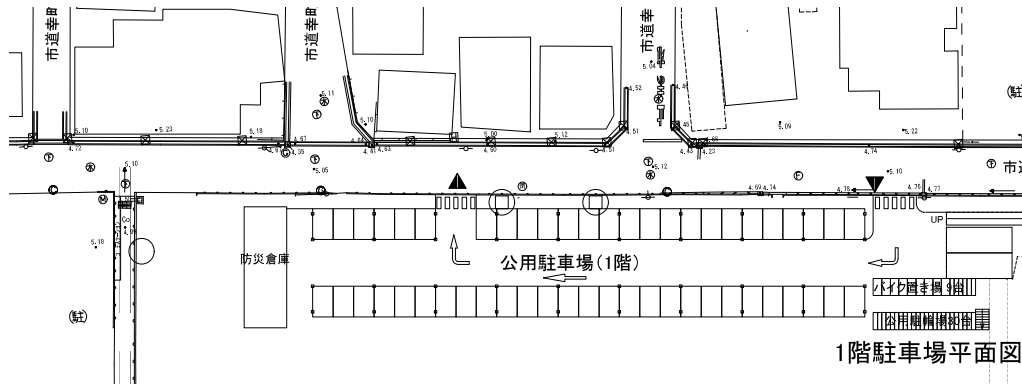
鳥取市新本庁舎基本設計 公用車駐車場確保の検討状況

基本計画における公用車想定台数 135台

	確保方法 (敷地内)	公用駐車場 駐車台数	特徴	備考
資料3	平面駐車場の のみ	53台	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内に確保できる駐車台数が大幅に不足する。 浸水時、全ての公用車駐車場が水没する。 イベント開催、災害発生時の平面的利用が図りやすい。 	
案A	1層2段 在来駐車場	107台	<ul style="list-style-type: none"> 2階部分は来庁者利用と共用することができる。 浸水時でも2階部分は水没しない。 イベント開催、災害発生時の平面的利用が図りやすい。 	※1階部分は53台
案B	2層3段 立体駐車場	103台	<ul style="list-style-type: none"> 1階部分は雨に濡れない来庁者駐車場となる。 浸水時でも2、3階部分は水没しない。 駐車場への防災ヘリの離発着に支障がある。 	※1階部分は来庁者用54台、 公用車用6台
案C	庁舎棟下部 地下駐車場	113台	<ul style="list-style-type: none"> 多額の費用を要する。 浸水時、全ての公用車駐車場が水没する。 	※免震ピットを利用(65台)

※いずれの案についても、今後さらなる公用車台数の削減に取り組みつつ、なお不足する台数を敷地外で確保

駐車場案A



駐車場案C

